

2025年4～6月

	三重・愛知	全国・海外
4月 フォーカス	●2025年F1第3戦日本GPが鈴鹿サーキットで開催。観客動員数は3日間で26万6,000人と2009年のF1開催再開以降、最多の来場者数に。〈4/6〉 ●安城市に「三井ショッピングパーク ららぽーと安城」が開業。愛知県で3施設目となり、施設内には200店舗以上が出店。〈4/18〉 ●伊勢市に古民家を使った分散型ホテルが開業。明治から昭和に建てられた町家など6棟を改修し、計8室(最大27人収容)を提供。〈4/25〉	●トランプ米大統領は、世界各国からの輸入品に「相互関税」をかけると公表。各国に一律10%の関税をかけ、国・地域ごとに税率を上乗せ。〈4/2〉 ●2025大阪・関西万博が大阪市の夢洲(ゆめしま)で開幕。テーマは「いのち輝く未来社会のデザイン」。過去最多となる158カ国・地域が参加。〈4/13〉 ●第四北越FGと群馬銀行が経営統合に向けた基本合意を締結したと発表。2027年4月1日をめどに株式交換し、統合する予定。〈4/23〉
5月	●愛知県は、スタートアップの祭典「TechGALA Japan(テックガラ・ジャパン)」を2026年1月に開催すると発表。事業会社などの展示会を開催。〈5/7〉 ●シャープは「世界の亀山モデル」である液晶パネル生産拠点の亀山工場の第2工場を、親会社の鴻海精密工業(台湾)に売却すると発表。〈5/12〉 ●愛知県と愛知国際アリーナは、名城公園の一角に7月開業予定の愛知県新体育館「IGアリーナ」を報道陣に公開。〈5/16〉	●証券口座乗っ取り問題について、大手10社が被害補償の方針を表明。損失を被った顧客に対して被害額の一部を補償する方針。〈5/2〉 ●日産自動車は2027年度までに世界で7工場を統廃合し、2万人の従業員を削減すると発表。米関税政策の影響で26年3月期の利益予想は未定。〈5/13〉 ●随意契約で小売業者などに売り渡す備蓄米の引き渡しを開始。5キログラムの販売価格は1袋当たり2,000円程度。〈5/29〉
6月	●2025年春闘の最終集計結果において、愛知県内企業の平均賃上げ額が1万4,259円に。記録が確認できる1985年以降で最高水準。〈6/16〉 ●政府が来年度に設置の検討を進める「防災庁」の地方拠点について、三重県は南海トラフ地震を見据え、県内に設置を求める要望書を提出。〈6/20〉 ●桑名市の桑名駅西口ロータリーの運用が開始。円滑な交通が期待されており、2035年までには公園を整備する計画。〈6/21〉	●韓国大統領に「共に民主党」の李在明氏が当選。3年ぶりに保守系から革新系に政権が交代。同月4日に国会で就任宣誓。〈6/3〉 ●厚生労働省は、2024年の人口動態統計を発表。日本で生まれた日本人の子供は前年比5.7%減の68万6,061人と初めての70万人割れ。〈6/4〉 ●イスラエルがイランの核施設などを攻撃し、翌日にイランが報復。同月22日、米軍がイランの核施設に攻撃するなど中東情勢は緊迫の状況。〈6/13〉

2025年7～9月の予定

	三重・愛知	全国・海外
7月～9月	●愛知県新体育館「IGアリーナ」が開業。最大1万7,000人を収容し、天井高は30メートルと世界トップレベル。大相撲名古屋場所がこけら落とし。〈7/13〉 ●任期満了に伴う三重県知事選挙が投開票。現職の一見知事が再選を目指すほか、建設会社社長の石川剛氏などが立候補を表明。〈9/7〉 ●世界最大級の旅の祭典「ツーリズムEXPOジャパン2025愛知・中部北陸」が9月25日から4日間、愛知国際展示場にて開催。〈9/25～28〉	●参議院議員選挙が7月の3連休の中日に行われる。投開票日が中日になるのは、記録が残る1952年以降初であり、投票率にも注目。〈7/20〉 ●豊かな大自然「やんばる」の森を舞台にした新テーマパーク「ジャングリア沖縄」が沖縄県の今帰仁村にて開業。非日常の冒険と癒しが魅力。〈7/25〉 ●世界陸上競技選手権大会が9月13日から東京で開催。日本では2007年の大阪大会以来18年ぶりの開催に。〈9/13～21〉

フォーカス

伊勢市で分散型ホテル「NIPPONIA(ニッポニア) HOTEL 伊勢河崎 商人町」が開業

歴史的建造物を生かした観光事業を手掛けるバリューマネジメント株式会社(東京・千代田区)が、三重県伊勢市で古民家を使った分散型ホテル「NIPPONIA(ニッポニア) HOTEL 伊勢河崎 商人町」を4月25日に開業しました。分散型ホテルとは、まちに点在する歴史的価値ある建物を再利用し、フロント・客室・レストランなどの役割を持たせて、まちをまるごと1つの宿泊空間にしたものです。

当ホテルは、伊勢神宮外宮から徒歩20分ほどの河崎地区に立地しており、明治から昭和に建てられた町家など6棟を改修し、計8室(最大27人収容)を提供しています。宿泊料金は1人あたり2万9,920円(2人1室朝食付き)からで、3年後の稼働率70%を目指して、地区内の別の建物を活用した施設の規模拡大も検討しています。

河崎地区は江戸時代に、勢田川の水運をいかした問屋街として栄えました。伊勢参りの人々に食や物資を提供するなど、「伊勢の台所」とも呼ばれた地域です。伊勢神宮の社殿を20年に1度建て替える「式年遷宮」を2033年に控え、国内外から観光客を呼び込むことが期待されます。